

櫻

けやき

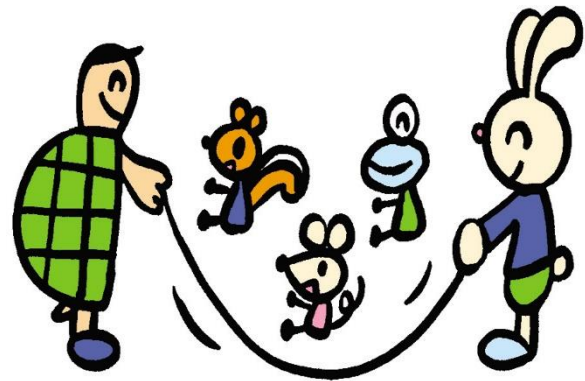
小牧幼稚園 園だより 第398号 2025年1月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」

年主題「さあ、漕ぎ出そう 奏しよう」

年聖句 イエスは言われた「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない」
ヨハネによる福音書14章4～6節

新しい年になり少しは平和な日々が訪れることを、願いながら毎日を過ごしていますが、中々、願いが叶うまで行きません。新しい年が、子どもにとって、良い年になるように、とまではかないそうにありませんが、日々、小牧幼稚園の子どもは、寒さに負けずに、幼稚園の活動が造形まつりバージョンになるなか、今日も、園庭で「創作」活動に励んでいます。先生たちが用意し、子どもにこんな様子、活動をして欲しいと思ってる以上に、前向きに動き回っているようで、そんな姿を見て喜び驚く先生の声が、2階の職員室まで響いてきます。

3学期は短い期間ですので、少しでも有意義な時間を持ちたいと願っています。特にみどり組は最後の3学期として、思い出作りに励みつつも、4月からの小学校生活に不安を感じながらも、私にランドセルの話や、小学校へ見学に行った話を楽しそうにしてくれます。毎年、ラピオのアリーナで小中学校生の選抜されたの作品が展示されていますが、小牧幼稚園卒園生の作品が多く展示されるため見学に行きますが、なぜか？学年が上がってくると、展示作品が減ってくるようです。1年生の時の製作は、幼稚園の時の製作の1年後として、「見えます」が数年たつと、幼稚園生活が見えてこなくなり、それは「成長」なのか学校生活に慣れてきて良かったのか？



いつまでも幼稚園児の顔では無くなっていく、少し淋しさも有ります。

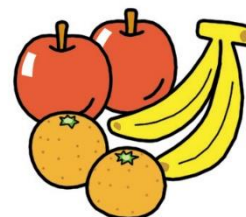
大寒も終わりもうすぐ春です。「冬来たりならば、春遠からじ」イギリスの詩人シェリーは言います。「苦しい時期を耐え抜けば、やがて幸せが巡ってくる」という期待を込めた例えでよく使われます。今年の1月号でお知らせしました、輪島から小牧幼稚園に来て働いていた先生から年賀状を頂きました。実家周辺は変化がなく、両親は金沢での避難生活が続いているとことです。また、今日の新聞には2024年、小中高生の自殺が過去最多の見出しがありました。「春遠からじ」やがて幸せが巡ってくる、明日があるのか、心配な日々が、まだまだ続くようです。

2・3月給食メニュー

- 2月 4日(火) 手作りコロッケ 黒糖クロワッサン 果物
6日(木) ハヤシライス 果物
7日(金) 麻婆豆腐 ご飯 果物
13日(木) ひじきご飯 果物
14日(金) 造形まつり準備のため半日保育
18日(火) 鶏の唐揚げ クロワッサン 果物
20日(木) けんちん汁 ご飯 果物
25日(火) デニシュパン ソーセージ 果物
27日(木) 中華飯 果物
28日(金) 豚汁 ご飯 果物
- 3月 4日(火) クロワッサン フランクフルト 果物
6日(木) 焼きそば ご飯 果物
7日(金) 五目御飯 果物
11日(火) カレーライス 果物 (みどり組、最後のごはん給食、カレーライスです。)
18日(火) デニシュパン ソーセージ 果物

〈食材の都合で、メニューの変更もあります。〉

長い間、果物を届けて頂いた幼稚園西側にある魚美津商店が当分の間、休業となりました。時期により、メロンや夏のスイカなどが楽しみでしたが、残念です。長期にわたりお世話になったことを感謝しつつ再開されることを祈っています。〉



☆遅くなりましたが、バザーの協力ありがとうございました。収益は278,236円となりました。献金先の詳細は後日お知らせします。すでに、赤い羽根共同募金に28,740円、小牧キリスト教会へ40,000円献金しました。後は、アジア保健研修所、PUD協会、ミンダナオ子ども図書館、その他に献金したいと思っています。それぞれHPがありますので、是非開いてみてください。

☆園だより2月号は「造形まつり号」となります。

☆3月25日は「新中学生」の同窓会を行います。知り合いで、来年度中学生になる卒園生がお見えでしたら、声をおかけ下さい。後日、全員にお手紙をお出しします。